

令和5年9月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	令和5年9月6日(水) 午後2時30分～午後3時30分
場 所	青葉市役所4階会議室及びWeb会議
出席者	<p>【議長】 青木マキ議員</p> <p>【議員：9名】 田中ゆき議員、山下正人議員、伊藤くみこ議員、横山正人議員、藤崎浩太郎議員、行田朝仁議員、おさかべさやか議員、内田みほこ議員、小島健一議員</p> <p>【説明局員：25名】(青葉区：21名)</p> <p>中島区長、吉田副区長、青木福祉保健センター長、壺井福祉保健センター部長、鈴木土木事務所長、瀬上消防署長、ほか関係職員</p>
次 第	<p>報告事項</p> <p>1 青葉区北西部における連節バス導入を通じた取組について (都市整備局都市交通課 資料1)</p> <p>2 地域交通の確保に向けた実証実験の実施について (都市整備局都市交通課 資料2)</p> <p>その他</p> <p>1 青葉警察署管内の情勢について (青葉警察署 資料3)</p> <p>2 青葉区火災・救急状況(令和5年8月29日現在) (青葉消防署 資料4)</p>
報告事項1	青葉区北西部における連節バス導入を通じた取組について
発言の要旨	<p>資料1に基づき、都市整備局から報告。</p> <p>横山議員 連節バスについて、例えば夏季休業期間中など、日体大の学生の数が極端に少なくなるタイミングでも運行本数は維持するということがか。</p> <p>森都市整備局 基本的に運行のダイヤは学校の休業等においても、同様のダイヤで運行する。 都市交通課担当課長</p> <p>横山議員 日体大から青葉台に行く間は、青61と青118の2系統があるが、青61を選んだ理由は何か。</p> <p>森都市整備局 青61については、日体大や田奈高校があるため、非常にバスの利用率が高い。利用の高い路線に連節バスを、という意味で、こちらの青61を選ばせていただいた。</p>

横山議員	<p>日体大に行くお客様は青61を利用することになるが、青118のすみよし台から青葉台に行く間に、乗り切れない停留所が出てくると聞いている。これはどのように解消する予定か。</p>
森都市整備局 都市交通課担 当課長	<p>東急バスで、停留所によっては利用者の乗りこぼしがあることを把握し、既に一部バスを増便したと聞いている。また、この連節バス導入に伴い、同じような状況が生じた場合には、東急バスが増便を図っていくと聞いている。</p>
横山議員	<p>ぜひ増便をしていただきたいが、限られた運転手をどう配置するかというのが今回の一番大きな問題になる。一部増便すると、どこかで減便するのかという話にもなっていく。例えば新しい青56の運行する地域や玉川学園台など、1時間に1本もない停留所がある。深夜バスやタクシーの問題も同様であるが、青葉区の利便性は、駅から放射状に延びているバス便の充実にかかっていると思っている。そのため、減便の問題というのはぜひ深刻に受け止めてもらいたい。</p> <p>また、ラストワンマイルをどう確保するかという問題が一番焦点にならないといけない。住宅地から最寄りの駅までは、やはり行政がしっかりと確保する努力をしなければいけないと思っている。</p> <p>もう一つ、敬老パスが使えない問題もある。こどもの国線で敬老パスを使えるようにするよう、ぜひ青葉区から非常に強く要望していただきたいと思うが、どうか。</p>
中島区長	<p>現在の状況を見ると非常に大事な視点だと感じている。もちろん、こどもの国線は鉄道事業法に基づいて田園都市線や横浜線などと同じような法体系の中で営業している一方で、シーサイドラインは軌道法の中で営業しており、鉄道事業法に基づくこどもの国線だけを他の鉄道と切り分けることができるのかという課題はあるとは思う。一方で、やはり地域の実情を考えると、そういったことも検討できないかということは、局にも働きかけていきたい。</p>
行田議員	<p>資料に青55系統の恩田駅への延伸を検討とある。これは利用実態から言えば、非常に真っ当な判断といえる。1点気になるのは、今でも恩田駅の前でバスの切り返しを行って、一発でうまく回れないという部分があり、この延伸を実施するということは、中央分離帯を再整備しなければならないだろうと思う。その辺りの検討も一緒に実施しているという認識でよいか。</p>

	<p>森都市整備局 現在、恩田駅の延伸は関係機関調整等を進めている状況であり、東急 都市交通課担 バスとの話合いの中では、現状の状態のままで当面の間は運行を行うと 当課長 いうことになっている。一方で、走行のために必要な中央分離帯の整備 等については、今後の協議の中で進めていきたいと思っている。</p>
<p>報告事項2 地域交通の確保に向けた実証実験の実施について</p>	
<p>発 言 の 要 旨</p>	<p>資料2に基づき、都市整備局から報告。</p> <p>山下議員 飛び地があるが、エリアCから乗り、エリアAの方に行くことはでき ないと聞いている。唯一、エリアCのあざみ野駅前の丸のついたところ からエリアBのたまプラーザの飛び地までは行っていいということか。</p> <p>徳重都市整備 基本的には各エリアの中で1台の車が通っているため、その中で使っ 局都市交通課 ていただくこととなる。ただし、エリアBの美しが丘地区からエリアC 担当課長 のあざみ野駅に行けないため、飛び地としてエリアBの美しが丘地区か らエリアCのあざみ野の駅の近くの赤い丸のところには行けるという こととなっている。逆に、エリアCのあざみ野地区からエリアBのたま プラーザ駅の上にある赤い丸には飛び地で行くことができる。エリアA の新石川地区は両駅にタッチしているため、エリアBやCには行けない こととなっている。</p> <p>山下議員 要は、駅までの誘導を飛び地で何とかやろうということだと思 う。特に美しが丘とあざみ野のほうは両駅を使う方が多いため、いいことでは あるが、飛び地をもう10か所ぐらい増やすということはできなかったの か。便利でないと利用をしないため、便利に利用をしていただき、次の 実証につながるようにしないと、なかなか利用者数が増えない。</p> <p>徳重都市整備 車1台でカバーできる圏域やエリアの問題があり、あまりにも広いエ 局都市交通課 リアをカバーしてしまうと、複数の予約が入った際にすぐに対応でき 担当課長 ない、即時性が失われるというところがある。飛び地が多くなると、一旦、 遠くに行ってしまうと元に戻れないということになり、今度は予約いた だいた方のニーズに応えられないということになってしまう。まずは、 こういった形で始めさせていただき、皆さんの声を頂いて改善してい きたいと思っている。</p> <p>山下議員 利用数が多くなり、台数を増やしたほうがいいという話になると、台 数を増やす方向に行く可能性もあるということか。</p>

徳重都市整備局都市交通課担当課長	<p>1台で需給バランスがとれていないということになると、2台目を投入する判断になる。一方で、2台目を投入すると運行経費が2倍になるため、それぞれ一定数の利用がないと運行経費を賄えない部分もある。</p> <p>また、予約があってもすぐに対応できないとなると、サービスの低下につながるため、そのあたりのバランスが難しいところだと思っている。</p>
山下議員	<p>もちろん運行経費の問題は理解ができる。一方で実証実験を実施しようとするのであれば、まずは次につながるように利用者数を増やしていく必要がある。その上でこのようなデマンド交通を普及していかなければ地域交通が衰退してしまう。その点は、もう少し考えてもらいたい。</p>
内田議員	<p>昨年の実証実験の結果の中で、利用施設としてはやはりスーパーなどが多かったのか。現時点で分かっている範囲でどのような利用客が多かったのか、駅まで行きたいという方も多かったかなどを総合判断して、次の実証実験のデータ収集を始めていただきたい。きっとそこに行きたいという場所のポイントがあると思う。</p>
徳重都市整備局都市交通課担当課長	<p>昨年度の乗降ポイントが51ポイントあったが、中でも多かった利用は駅の近くで3ポイントほどある。そういった利用の頻度等を踏まえて、今後の実証実験に生かしていきたいと思っている。</p>
内田議員	<p>やはりそういったデータがとても大切になっていく。利用数が多い施設にもっと協力していただけるようにするなど、しっかりと準備していただきたい。</p>
横山議員	<p>交通チケットの配布箇所について、9月8日に公表するということがあったが、登録が開始されたのは先週頃だった。なぜ時期がずれているのか。交通チケットの配布はインセンティブとなるため、これがこの事業の肝だと思っているが、登録開始の際に前面に言えなかったのはなぜか。</p>
徳重都市整備局都市交通課担当課長	<p>交通チケットの配布というのは、この取組のインセンティブになるため、なるべく早くお伝えしたかった。一方で、各店舗にこの実証実験に参加するかどうか、同意するかどうかの意思を確認している。今はまだその確認中のため、利用者登録のタイミングと店舗を紹介できるタイミングがずれてしまっている。</p>

横山議員	<p>登録するかしないかを判断する利用者の立場からすると、情報が出ていないのは残念だったと思う。</p> <p>また、今回利用登録したが、プッシュ型でアンケートへの回答依頼があった。60問近く答えたが、その中で、どういう利用があるか、現在の移動の形態は何か、など様々なことを聞かれた。これは、利用者ごとの属性など、個別にデータ収集できるようになっているのか。</p>
徳重都市整備局都市交通課担当課長	<p>利用登録で何十項目も入れていただいているのは、利用者の属性を把握してデータの収集と分析につなげていくためである。今後、実装に向けて、そのデータを生かしていきたいと思っている。</p>
横山議員	<p>名前、生年月日、住所など、個人的なことまで回答をするアンケートだった。個人の回答は見ようと思えば見られてしまうのか。</p>
徳重都市整備局都市交通課担当課長	<p>データを扱っている委託先で、個人情報の保護を大事にしながら実施しているため、誰が登録していてどういう個人情報かということは簡単に見られないようにはなっている。誰がどうしているか、どういう人かということよりも、利用者の属性を把握してデータ分析に活用する。もちろん個人情報の保護というのは重要であるため、法令等に基づいて適切に取り扱っている。</p>
横山議員	<p>今回3地区に分けたというのは、車の台数が限られているため、利用が一部に集中することで、利便性が乏しくならないようにするという点が理由かと思う。一方で、その反面、3地区に分けることで利便性を損ない、結果として利用者が少なくなってしまうのではないかと思うが、どうか。</p>
徳重都市整備局都市交通課担当課長	<p>今回の実証実験で、1台がカバーできるエリアで予約がどれぐらい入るのか、またその場合の配車数や、行きたい場所への所要時間などを検証し、どのような交通を導入したらいいのかといったあたりを、まさに実証実験を通じて検証していきたいと思っている。</p>
横山議員	<p>A Iバスを関内・みなとみらいで実施をしていた際に利用をしたが、予約をしているにも関わらず来ない、勝手に予約が落とされる、などのトラブルがあった。そういったシステムのトラブルというのは新石川で実施をした際にはなかったのか。</p>

徳重都市整備局都市交通課担当課長	1回だけ配車がうまくいかなかったことがあったと聞いているが、基本的にシステム全体がうまくいかないということはなかったと認識している。
横山議員	便利な地域をより便利にするシステムのため、こういったシステムこそ、例えば1時間に1本も来ないような地域で運用する、あるいはバス便が確保できない、ラストワンマイルを確保することができない地域でぜひ実証実験してもらいたいと思うが、どうか。
徳重都市整備局都市交通課担当課長	今回の実証実験以外は、全ていわゆる交通不便地区といわれる駅から遠いところやバス停が遠いところで実施している。利用者の運賃収入のみでこの移動サービスを賄うというのはなかなか難しいため、何らかのプラスの負担を誰かがしないと成り立たないという点で、苦慮しているところがある。今回、この青葉区での取組というのは、どちらかというところと駅に近いところで実施をしているものだが、持続可能性を高めるため、運賃収入以外に生活サービス施設等に、協賛金のようなものを頂くなど、この運行サービスを成立させるにはどうしたらいいのかといったことを検証している。
横山議員	便利なところをより便利にする仕組みのため、交通不便地区での実証実験を他でもやっているという話ではあるが、青葉区内の1時間に1本もバスがないところでも、ぜひ検討していただきたい。
藤崎議員	<p>デマンド交通といえども混み合うと、自分が思ったとおりの予約ができないということも起きてくると思う。</p> <p>例えば、アプリ上でその時間に予約ができなくても、GPSをオンにしていれば、近隣のバス停の案内と時刻表のようなものが取れる、また乗りたい電車の時刻を先に登録して、その時刻に間に合うようなデマンド交通の予約時間の目安がわかる、などアプリ上の工夫が今後検討できるといいのではないかと思う。その辺の考えがあれば教えていただきたい。</p>
徳重都市整備局都市交通課担当課長	現在はこの地区にサービスを導入するといった段階のため、まずはこれを成立させるといったことが前提になるかと思う。MaaSのような話になるかもしれないが、この予約サービスと、既存のバス路線の状況や鉄道との予約状況というものがそれぞれ繋がると、さらに利便性が高まるようにできるという考えは理解できるため、今後の参考にさせていただきたい。

	<p>藤崎議員 9月8日に生活サービスの施設の連携の箇所について公表ということだが、例えば新石川エリアにおいても、前回よりも登録している連携先が増えそうだという見込みは多少見えているかと思うが、その辺りはどうか。</p> <p>徳重都市整備局都市交通課担当課長 昨年度、生活サービスとして連携させていただいた施設が400程度あった。今年度はさらに30程度は見込んでいるため、420～430程度の店舗と連携ができていると思っている。</p> <p>藤崎議員 他の地域でも、始まってみると良さそうだと気づくところもあると思うが、後から協力店として登録していくことも可能ということでしょうか。</p> <p>徳重都市整備局都市交通課担当課長 その通り。</p>
その他1	青葉警察署管内の情勢について
発言の要旨	資料3に基づき、青葉警察署から報告。
その他2	青葉区火災・救急状況（令和5年8月29日現在）
発言の要旨	資料4に基づき、青葉消防署から報告。